

令和7年度 散在地域・小規模校のための日本語初期指導支援事業成果イメージ

外国人児童生徒教育カリキュラム等開発推進会議

- 協力校（散在市町からも委員を委嘱）の教員及び市町村教育委員会担当者
- 教材・手引き等作成の実務を担う会議
- 委託により作成された指導計画の仕様書・経過の点検作業
- 協力校における実践・検証をもとにした指導計画の修正 ※年4回開催



外国人児童生徒教育連絡協議会

- 42市町村教育委員会担当者、県費適応指導員
- 県内の外国人児童生徒教育の課題共有・協議
- 県費外国人児童生徒適応指導員への服務研修 ※年1回開催

→教材・資料の協議・作成、成果を検証する会

→県内の外国人児童生徒教育に係る情報の収集・共有、今後の方策について検討する会

事業構想

■散在地域・小規模校への日本語初期指導に係る支援

- ▶日本語能力に応じたオンライン日本語初期指導講座
- ▶日本語指導に活用できる学習コンテンツ・教材の開発
- ▶「日本語初期指導計画(約3か月・60時間コース)」等の作成

業務委託
による実施

■散在地域における外国人児童生徒受入れ支援

- ▶散在地域のための外国人児童生徒受入れの手引きの作成
- ▶散在地域のための外国人生徒進路説明会の実施(多言語対応)

オンラインによる日本語初期指導の実施

DLAを参考にした日本語能力測定によってコース決定

- 年間通して複数の開始時期(ターム)を設定
- 小・中・義務教育学校の実施校を募集

- 入国して間もない児童生徒を対象に、学齢に応じたコースを設定

□オンラインによる日本語初期指導講座実施

- 週5日(1日3時間)×4週間の集中講座
- 日本語教師(国家資格)による日本語指導
- オンラインに対応した少人数指導の実現
- 各校における取り出し指導との連携・継続

□日本語初期指導における指導計画の共有

「サバイバル日本語」、「日本語基礎」(文字・標記・語彙・文法)等を系統的に学習できる指導計画の作成

□教育事務所指導主事による支援

(外国人児童生徒支援期間)

受講前

受講者に対する事前面談に係る支援
(DLA「はじめの一歩」の研修・実施支援)

受講後

対象児童生徒の適応指導・日本語指導に係る継続的な支援の在り方について指導・助言

受入れの手引きの作成

受入れ体制を整えるための手引きの作成

学校・在籍学級・取出し指導における受入れのポイントを記載

R8に完成版を製本・配付
(毎年作成分は随時HP掲載)

外国人生徒進路説明会

散在地域にも平等に情報提供する
ための、県内一斉オンライン開催

日本語指導が必要ななどの児童生徒に対して、
散在地域におけるニーズに応じた支援の充実